

家庭保育と施設保育の相互作用

(分担研究：相互作用と乳幼児の心理行動発達に関する
基礎的研究)

小嶋謙四郎*

要約 保育園の3歳児の行動問題の形成は、母親の、こどもの泣き・ぐずりへの安定した対処、こどもへの応答性、接近しやすさと関係する。

見出し語：3歳児 母子関係 行動問題

はじめに

母子関係の不安定なこどもは、保育園で行動問題をしめしやす。また、保育園の行動の改善は、母子関係の安定化にやくだつ。こうしたアタッチメントの発達と行動発達の関連にみられる家庭保育と保育園の保育との相互作用を明らかにすることを目的として、この研究ははじめられた。

ここでは、この研究期間に行った作業の経過と、そこで得られた所見を要約する。

1. 作業経過のあらまし

初年度は、継続研究の体勢づくりと協力してくれる保育園の確保に重点がおかれ、東京都区の39の公立保育園を確保することができた。2年度は、39の保育園に在園する3歳児を選び、行動質問紙によって、行動問題を保母に評定してもらった。無記名調査であるが、保育園では、こどもを同定できるようにした。

3年度は行動問題の教的指標 BPS をつかって行動問題のあるこどもの家庭の背景について、保母に面接し、ききとりをおこない、その資料をもとに、調査表1と調査表2を作成して、前年度対象の3歳児のうちBPSの得点の低いこどもと高いこどもを各保育園ごとに5名づつ選

択して、評定をしてもらった。

調査表1には、こどもの健康管理に関する質問12、保育園との関係8問、保母との関係9問、母親のこどもへの接しよた15問、から構成されている。5段階評定である。

調査表2は、家庭におけるこどもの居場所5項目、母親のオーバーロードなど5、家族の不和5、母親の心理的ストレスなど6、育児態度5の26項目でなりたっている。

回収された376名のデータをもとに、行動問題と母親行動との関係について解析をおこなった。

376例のうち、障害児の認定をうけているか、専門機関の巡回指導を受けている29例(男児25、女児4)、および単親家庭36例(男児15、女児21)と、不完全データ6例の計71例を除く305例について調査表の項目分析をおこなった。

こどもをBPSの低得点から高得点の順にならべ、低得点群と高得点群を編成した。前年度の全数調査によるBPSの累積分布曲線の25パーセンタイル値として男児-4・女児-3、75パーセンタイル値としてそれぞれ11と8を求め、それを基準とした。すなわち、男児は、0-4を低群、11以上を高群、女児は、0-3を低群、8以上を高群とする。

こうして、調査表1の各項目にすべて5段階評定が行われ、欠揃のない94例について、男女別、群別、に項目ごとの平均と標準偏差をもと

* 早稲田大学 (Waseda univ.)

め、低得点群と高得点群の平均の差の有意性の検定をおこなった。

2. 調査所見

項目分析の結果は、表1にしめすとおり男児は、こどもの健康管理8項目、園との関係3、保母との関係4、こどもへの接しかた11の項目に差がみとめられた。なお、女兒は、「こどもの健康についてけじめのあるしつけ」「こどもの気持ちを理解して応答」「あそびに気がるに参加」「こどもに無関心」の4項目に有意差があるにとどまった。

表2は、女兒の高得点の基準を男児とおなじBPS11-にして、こどもの健康管理とこどもの接しかたの各項目について、両群の平均の差をみたものである。ここでは有意差のある項目が16と男児にせまっている。

男女ともに、こどもの泣き、ぐずりへの安定した対応、理解的な応答、遊び、会話への参加、にBPSの低得点群に高い評定値をあたえられているこどもの多いことがみとめられたが、こ

れらの母親行動はいずれも安定した母子のアタッチメント関係の形成とその持続に貢献することはよく知られている。

なお、調査表2との関連については、今後検討を続けていく予定であるが、たとえば、仕事の多忙+家族の老人、傷害者の世話+父親の非協力といった、母親のオーバーロートや心理的ストレスの重積効果の、母子相互作用に及ぼす影響について、構造的な解析を重視する必要がある。

おわりに

この研究を通して、都市の保育園の直面する保育の現実にふれたが、こどもの家庭の背景はより多様化しており、家庭機能としての保育園の役割も多次元に構造化せざるをえない。

保育園の保育相談のありかたのごとき今日的機能はもとより、福祉施設としての保育園のみなおし、こどもの保育・発達施設への転換という視点の導入を提言したい。

Abstract

Comparison of children with behavior problems and behavior problems on scores on the "Child Behavior Inventory" suggests that the degree of maternal involvement is important in accounting for group differences.

Kenshiro Kojima

表 1

調査表-1

	M	F
1. こどもの健康管理		
こどもの衣類が清潔できちんとしている	*	
季節や天候にあわせて着替えさせる	*	
こどもの食事に手をかけている		
こどもの睡眠時間を大事にしている	*	
爪切り、耳の掃除、髪の手入れがゆきとどいている	**	
その日のこどもの体調を把握している	**	
こどもの健康について、けじめのあるしつけができていない	*	*
着替えの衣類を園においてない	*	
こどものいなりに食べ物をあたえる	**	
朝眠っているこどもをそのまま園に連れてくる		
こどもが体調を崩していても休ませない		
おとなの生活リズムにこどもをあわせようとしている		
2. 園との関係		
提出物は期日どおりにとどける		
登園・降園時刻は、きちんとまもる	*	
こどもを休ませるときは園に連絡がある		
園の行事には積極的に協力する		
降園時刻に遅れても連絡がない	**	
遠足、運動会などの行事に遅れてくる	**	
保育参観、個人面談、保護者会などに出席しない		
3. 保母との関係		
保母と積極的に話し合いをする	**	
こどもについて保母と共通の理解がたもたれている	*	
こどもから聞いて園の様子を知っている	**	
こどものクラス友達の名前を知っている		
保母に苦情や注文が多い		
保母とは自分の話をして、こどものことを話題にしない		
保母がこどもの様子を伝えても、うわの空で聞いている	*	
保母とうちとけない		
保母になれなれしい		
4. こどもへの接しかた		
こどもの「バイバイ」に手を振って答える		
分離時、こどものぐずり、泣きに落ち着いて接している	**	
そのときどきのこどもの気持ちを理解して応答する	**	*

表 2

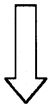
	低得点群		高得点群		
	M	SD	M	SD	P
こどもの健康管理					
こどもの衣類が清潔できちんとしている	4.35	1.09	3.73	1.42	
季節や天候にあわせて着替えさせる	4.27	1.12	3.36	1.12	*
こどもの食事に手をかけている	3.65	1.09	2.73	1.27	*
こどもの睡眠時間を大事にしている	3.54	1.24	2.18	1.33	**
爪切り、耳の掃除、髪の手入れがいい	4.08	0.89	3.55	1.29	
その日のこどもの体調を把握している	4.19	0.94	3.36	1.03	*
健康についてけじめのあるしつけがない	1.85	1.08	2.71	1.20	*
着替えの衣類を園においてない	1.65	0.94	1.86	0.95	
こどものいいなりに食べ物をあたえる	1.96	1.15	2.79	1.12	*
眠っているこどもを園に連れてくる	1.50	0.98	2.21	1.12	
こどもが体調を崩していても休ませない	1.69	1.12	1.86	0.95	
おとなの生活リズムにあわせている	1.85	1.19	2.36	1.15	
こどもへの接しかた					
こどもの「バイバイ」に手を振る	4.81	0.49	3.70	1.65	**
こどものぐずり泣きに落ち着いて接する	4.27	0.78	2.62	1.12	**
こどもの気持ちを理解して応答する	4.15	0.78	2.62	0.96	**
こどもの話かけをうなづきながら聞く	4.46	0.65	3.15	1.41	**
こどものあそびに気軽に参加できる	4.04	1.22	2.54	1.39	**
むかえが遅くなるとき前もって知らせる	4.00	1.36	3.38	1.45	
こどもとの会話を楽しんでいる	4.38	0.70	3.00	1.08	**
休日の過ごしかたが充実している	3.73	1.08	2.29	1.19	*
けじめのないかわいがりかたをする	1.96	1.25	2.81	1.40	*
こどものことにうるさく口出しをする	2.23	1.17	2.64	1.57	
こどもが思いどおりに動かないと叩く	1.46	0.76	2.00	1.10	
こどもを抱くことがない	1.73	1.00	2.55	1.29	*
こどものしつけが厳しい	1.62	0.80	1.82	0.98	
こどもに無関心	1.23	0.43	2.45	1.55	**
こどもを虐待する	1.08	0.28	1.00	0.00	

女児：LOW (BPS:0-3) = 27 / HIGH (BPS:11-) = 12

こどもの話かけをうなづきながら聞いている	**	
こどものあそびに気軽に参加できる	*	*
「おむかえ」が遅くなるときは、前もってこどもに知らせる	**	
こどもとの会話を楽しんでいる	**	
休日の過ごしかたが充実している	**	
けじめのないかわいがりかたをする	*	
こどものすることによるさく口出しをする		
こどもが思いどおりに動かないと叩く	**	
こどもを抱くことがない	*	
こどものしつけが厳しい		
こどもに無関心	*	**
こどもを虐待する		

M・LOW(BPS:0-4) = 2 8 / HIGH(BPS:11-) = 2 1

F・LOW(BPS:0-3) = 2 7 / HIGH(BPS:8-) = 1 8



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約 保育園の3歳児の行動問題の形成は、母親の、こどもの泣き・ぐずりへの安定した対処、こどもへの応答性、接近しやすさと関係する。